

# とびだそう 未来へ

目次

巻頭言

## 道德科教科書と 道德教育の未来 ②

林 泰成

教科書特集

## 中学道德 新版教科書の ご紹介 ④

授業実践紹介

## 広い視野から 多面的・多角的に考える工夫 ⑫

教材「いのちを考える」から

戸上 琢也

## 節度あるSNSの利用について 多面的・多角的に 話し合うための工夫 ⑭

中学校第2学年「道德」における情報モラル

教材「SNSとどうつき合う？」から

鈴木 理菜



# 道徳科教科書と 道徳教育の未来



はやし やすなり  
**林 泰成**

上越教育大学教授

## 道徳科教科書の改訂

中学校においても平成31年度から始まった「特別の教科 道徳」では、教科書の改訂が進められ、令和3年度から新しい版が使用されます。今回は短い期間での改訂となったので、各社ともになかなか難しい作業になったのではないかと思います。それぞれに工夫を凝らしたことでしょう。教育出版でも、いじめや差別、生命の尊さなどの内容については、連続して多様な教材から学べるユニット構成の取り入れなどの工夫や、コラムページの新設も行いました。

## 中学校道徳科初年度の様子

中学校では、小学校より1年遅れて教科化が進められましたので、小学校での様子を参考にすることができました。しかし中学校では、教科担任制ということや思春期という難しい年頃ということもあり、中学校ならではの難しさもあつたように感じます。

私は、ちょうど中学校道徳科の始まりに合わせるかのように、平成31年度より、勤務先の大学院で修士課程から教職大学院へ移ることになりました。もちろん、これまでの修士課程においても、実践的なことを扱ってきたつもりですが、教職大学院では、教育実習とは別種の年間150時間の実習が課せられるということもあつて、今まで以上に道徳科の授業実践に関わることになりました。

実習校だけでなく、多くの学校での道徳科授業の実践を見ると、小学校とは違った様子が見て取れます。たとえば、社会科の教師と国語科の教師は、同じ教材を使って授業をしても、やはり押さえどころが違って見えます。前者は、社会科的な視点で、たとえば人権問題に言及したり、後者は、教材の読み取りがとても丁寧だったりします。そうした先生方が、休み時間に、道徳科授業について意見交換をする様子も観察しました。担当教科以外の教師と授業のやり方について意見交換ができるというのは、教師集団の同僚性を高めるという点でも大きな意味があるのではないかと思います。

ある中学校では、全校道徳の授業を参観しました。教科書は学年ごとに存在しますから、それぞれの教材を使用すべきですが、しかし最近の少子化で、学校によってはグループでの討議が難しいところもあります。「考え、議論する道徳」を実践するには、どうしても全校道徳を組まざるをえない学校もあるのです。そうした実践の中で、3年生が、下級生によいところを見せようとがんばっている姿も見られました。同年齢の集団での学習とは違った、異学年集団ならではの学びがそこには成立しているように思いました。学年を超えて同一教材を使用しても、みんなが理解可能であるという点が、道徳教育のおもしろいところだとも思いました。

ローテーション道徳を実践している学校もあります。一人の教師が、同じ教材を自クラスだけでなく、

他のクラスでも実施するというやり方です。

この1年間は、各学校で、いろいろと工夫して取り組まれている様子が見られ、道徳の授業研究が活性化しているという強い印象をもちました。

道徳の教科化は、いじめ問題が一つのきっかけになっており、教材としていじめ問題も取り上げられています。そうした教材がいじめの解決にストレートにつながればよいのですが、なかなかそうなるとは思われていないように感じます。しかし、確実に予防効果はあります。本音で議論ができるような集団は、民主的な集団として十分に組織化できているといえるからです。

### 教科書の存在意義

ところで、「教科書を教えるのか、それとも、教科書で教えるのか」ということが、これまでも議論されてきました。教科書には法的な使用義務があると言われていきますから、教科書を教えておけばそれで表面的にはよさそうにも思えます。しかし、道徳科の場合は、教材を通して、友情とか、親切とか、思いやりとかの道徳的価値を教えることになるわけですから、教科書の内容を教えるだけでは足りず、教科書の教材を使いながら道徳的価値を教えることになると言ってよいでしょう。そういう意味では、教科書で教えるということになります。児童生徒を中心に言い換えれば、教科書で学ぶということになります。

一方で、教科書の教材の代替も認められると考えられています。中学校学習指導要領にも、教材の開発や活用について記されています。しかし代替は、担任教師として行うのではなく、学年団で相談のうえ、管理職の判断を仰ぐなどの対応が求められます。

教師集団にも、経験や能力の差はあります。教科書は、誰にでも活用できるように工夫されていますが、道徳教育に力を注いでこられた経験豊かな教師は、独自の工夫を加えて、子どもたちにとってよりよい授業の実現を旨ざしていただきたいと思います。

### とびだそう未来へ

日本政府は、来るべき未来社会を、Society5.0と名づけています。それは、情報社会の一つ先の社会で、内閣府の資料では「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）」と説明されています。今の社会に存在するある職業がなくなっていたり、新しい職種が生まれていたりするかもしれませんが、AI搭載型ロボットや自動運転車が難しい操作もなしに、日常生活の中で利用できる便利な社会と言ってよいでしょう。そうした意味では、人間が主役の社会であることには違いはないといえそうです。

しかし、そうした社会の道徳やルールは、現在とは少し違ったものになっているかもしれません。たとえば、自動運転車の事故の責任は、車に乗っている者ではなく、製造者にあるというような変化がありそうです。今の中学生たちは、そうした社会を生きることになるのです。

未来において、彼らが新しい道徳を学ぶことになるとしても、その基盤として、現在の道徳の学びが役立つものでなければなりません。現在は、未来へとつながっているのです。

教科書についても、時代の変化に応じてふさわしいものに変えていくべきでしょう。それに応じた指導法が提案されていくのも当然のことでしょう。そうした提案に対しては、文科省や教科調査官たちもアンテナを高くして待ち構えているのではないのでしょうか。私たちは、皆さんとともに、そうした提案を出し続けたいと考えています。

生徒たちがとびだす未来は、いったいどのような社会になっているのでしょうか。その未来ビジョンが実現されるかどうかはわからないにしても、それでも、ビジョンを描いてそこへの道筋をつけることが、私たち年長者の役割ではないのでしょうか。



# 1年間の学びが見通せる！

令和3年度版『中学道徳 とびだそう未来へ』は、いっそう使いやすく、学びやすくなりました。内容の一部をご紹介します。

4月。これから1年間、道徳科ではどんなことを学ぶのだろう。  
新版教科書では、1年を通して何を学ぶか見通しをもち、どのように学ぶか確認ができる、オリエンテーションのページが充実しています。

## 詩

教科書を開くと、一つの詩との出会いがあります。

1年間、心にとどめて考え続けてほしい、それぞれの学年で軸となるテーマや心構えを表現しています。



▲ 1年 巻頭



## 何を学ぶか

## この教科書で学んでいくテーマ

教材を学習のテーマごとにまとめて一覧できるページを設けました。道徳科で考えたい、社会の様々な課題に直結するテーマについて、どの教材が関連しているのかがわかるようになっています。

他の学習活動と関連させてカリキュラム・マネジメントを考える際にも活用することができます。

この教科書で学んでいくテーマ

- 自然・環境: 30, 26, 19, 15, 168, 148, 110, 88
- 安全・防災: 32, 14, 181, 82
- 情報モラル: 7, 5, 42, 30
- 伝承・文化: 35, 29, 24, 15, 194, 152, 135, 88
- いじめ・人権: 22, 18, 17, 9, 8, 7, 4, 124, 106, 100, 56, 46, 42, 26
- 生命の尊厳: 28, 22, 21, 20, 1, 150, 124, 110, 114, 8
- キャリア教育・社会参画: 34, 33, 26, 23, 12, 10, 6, 5, 190, 185, 148, 130, 72, 64, 34, 30

どのように学ぶか

道徳科で学びを深めるために

道徳科ではどんなふうに考えたり話し合ったりするのか、学習の流れを確認できるページです。冒頭の、身近な気づきから生まれる「問い」をもとに、学びの視点を意識した生徒の発言例を追うことで、具体的にどのように考えたり話し合ったりするのか、イメージをもちやすくなっています。

道徳科で学びを深めるために

このクラスは、最高の仲間についていえるのかな？

仲間がいると心強いよね。

私は、このクラスにとってどんな最高の仲間になれるかな？

最高の仲間だったわって、いえるクラスにするために、何ができるかな？

このクラスは、最高の仲間についていえるのかな？

このクラスみんなが、最高の仲間になったら素敵だね！

カンガエルが下のような学級の旗を見つけました。ふむ、なるほど。最高の仲間とは、どんな仲間でしょうか。どうしたら、最高の仲間になれるでしょうか。考えてみましょう。

そもそも仲間って何かな？

友達のいろいろな考えを聞いてみると、新しい考えが浮かんでくるね！

みんなで話し合うと、自分も何かしかなって来るね！

最高の仲間とともに

問題に気づく

1 考えたいことは何かを見つけよう。  
・教材から疑問を発見しよう。  
・友達と考えてみたいことを出し合おう。

2 自分の考えをもとに  
・疑問に対する自分の考えをもとに。  
3 友達と考えを出し合おう。  
・友達の考えをよ聞いて、議論しよう。

4 友達の考えを自分にかきとる。  
・議論をもとに、自分の考えを見直そう。

考え、話し合う

5 授業で学んだことをもとに、考えを深めよう。  
・授業で学んだ新たな考えをもとに、自分の心や生き方を見極めて考えを深めよう。

深める

つなぐ

6 学んだことをいかそう。  
・学んだことを、これからの生活にどんなふうにかけるか考えよう。

▲ 1年 p.4-5

冒頭の問いは、巻頭詩のテーマと関連しています。

1年の初めにクラス全体で考え話し合うのにふさわしい題材で、学級開きなどに活用することもできます。

左：2年 右：3年

カンガエルが下のような看板を見つけました。ふむ、なるほど。大切さが同じとは、どういう意味でしょうか。どうしたら、あなたとわたしの大切さを同じにすることができるでしょうか。考えてみましょう。

カンガエルが下のような表紙の本を見つけました。ふむ、なるほど。カッコイイとは、どういうことでしょうか。カッコよく生きるために、どんなことを大切にしていきたいですか。考えてみましょう。



## 「導入」と「学びの道しるべ」

教材ごとに厳選した「導入」と「学びの道しるべ」が、「主体的・対話的で深い学び」に導きます。

### 導入

- 本時では教材を通してどんなことを考えていくのか、**意識づけ**をする問いです。
- 学習の方向性をクラス全体で共有することで、**対話的な学び**が生まれます。
- 導入があることで、**自らを振り返ったり**、学習前と学習後の**考えの変化を生徒自身が実感したり**することができます。

7 六千人の命のビザ

**学びの道しるべ**

1 外務省の命令に背いてまでも原千歌がビザを書き続けたのはなぜだろう。

2 千歌はどんな気持ちで、ホームに立つユダヤ人たちに深々と頭を下げたのだろうか。

3 千歌の生き方から、あなたの生き方にいかせるのはどんなことだろう。



43

7 六千人の命のビザ

一九四〇（昭和十五年）年、七月十八日の朝、リトアニアの日本領事館に住む私たちは、いつもと同じように軽い朝食をとっていました。夫は、朝食がすむと階下に降りていき、昼食の時間に再び家族の前に顔を見せるのが日課でした。

その朝私は夫を見送り、自分の部屋に戻ると、本を読み始めました。いつも、こうして静かな午前が過ぎていくのです。本を聞いて十数行ほど読み進んだ時、ノック音がして、夫が入ってきました。「ちょっと窓からのぞいてもらん」

カーテンを少し開けて、夫は俯すように私を見ます。夫のそばに寄り、窓の外をなげなく眺めて、私は自分の目を疑いました。

建物の周りをびっしりと人の群れが埋めつくしているのです。領事館は、カunasの中心地から少し離れた高台にあり、人通りもあまりなくいつも静かなところでした。



「国籍人」とは、どんな人のことだろう。

36

▲ 2年 p.36-43

### 学びの道しるべ

- 教材をもとに道徳的諸価値に関わる問題意識をもつ問い、自分自身に引きつけて考える、多面的・多角的に考える問い、道徳的諸価値についての理解を深める問いなど、教材内容にふさわしい問いを三つ掲載しています。
- 三つの問いを連携させて、自分自身の生き方、人間としてのあり方について考え、**深い学び**につなげます。



## 学びを広げ深めるコラム

「安全・防災」「情報モラル」「人権」について考えるコラムのページを新設しました。学校やクラスの状態によって、教材と組み合わせて学びを深めたり、関連する他の学習活動で活用したりできます。

安全に  
気をつける
防災について考えよう
学び  
22

**こんなとき、あなたならどうしますか？**



日曜日、私は、リビングでテレビを見ていました。私は2階で、一人で遊んでいます。お母さんは台所で、昼ご飯をつくっています。カレーを煮ているおいしそうな香りがします。近くの公園を散歩してきたおじいちゃんは、汗をかいたので浴室でシャワーを浴びています。

お母さんが、「明日のお弁当の材料を買い忘れたから、買いに行くからね。あと10分したらカレーの火を消しておいてくれる？」と言ったので、私は「わかった。気をつけて行ってきてね」と答えました。

お母さんが家を出た後、少しして、急に家が揺れました。家はミシミシ大きな音をたてています。見ていたテレビが急に消えました。これはかなり大きな地震！

私はとっさにテーブルの下にもぐりました。2階からは妹の泣き声が聞こえてきます。私は、どうしたら……。

**あなたの知識と考慮で、この後の状況が決まります。**

あなたが「私」だったら、どうしますか。

---



---



---

行動を決めるとき、あなたは、大切にしたいものを思い、もっている知識と経験からそのときの状況を判断し、先を予測して決定することです。一瞬の判断と行動。正しい知識をもっていなかったら、的確な判断をすることができません。

自然災害によって起こる状況はさまざまで、そのときそのときで判断し行動することが求められます。自分でできることが正しくできるように、思いだけでなく準備が必要です。正しい知識を身につけること。日頃から備えをすること。あなたは、できていますか。

**自然災害が起こったら、どう行動する？**

**地震 発生直後にすべきことは？**

- ▶ 揺れがおさまってから行動する  
立てて外に出ると落下物やガラスの破片など危険。状況判断して行動する。
- ▶ 火元を確認する  
火がついていたら慌てずに消す。出火してしまったら、初期消火を行う。
- ▶ 出口を確認する  
ドアが開かなかったら閉じ込められてしまうので、避難できるように出口を確認する。

**地震 地震発生時にそこにいたらどうする？**

- ▶ リビング  
手の高い家具や重い家電が多く危険もある。机の下などにもぐることが大助。
- ▶ トイレ  
扉が小さいことが多く、閉じ込められる可能性がある。ドアを開けて逃げ道を確保する。
- ▶ 浴室  
湯や電線などがガラス類が多く危険。タオルや洗面器で安全を確保しながら、すぐに出る。

**集中 気をつけなければならないことは？**

- ▶ 河川や用水路に近づかない  
局地的な集中豪雨が発生すると、河川や用水路は水があふれ、激しい水の流れになりやすい。
- ▶ 地震より強い揺は強くない  
立体的な道路や歩行用の地下通路は漏水の危険がある。
- ▶ 地下・半地下から避難する  
冠水しやすく、水圧でドアが開かなくなる可能性がある。

**集中 気をつけなければならないことは？**

- ▶ 高いものに近づかない  
樹木や、高く突き出た物には、雷が落ちやすいので危険。
- ▶ 安全な場所へ避難する  
グラウンドのような開けた場所では、雷が人を直撃することがある。鉄筋コンクリートの建物の中などに避難する。
- ▶ 安全な姿勢をとる  
姿勢を低くし、持ち物は高く突き出さない。

**自然災害が起こる前にできることは**

**備える、蓄える**

- ▶ 非常用の持ち出し品をまとめておく  
避難する時に最低限必要になるものをまとめて、持ち出しやすいところに備えておく。
- ▶ 食料や生活必需品を蓄えておく  
電気・ガス・水道などが止まってしまった場合に備えて、水や食料、生活必需品を蓄えておく。
- ▶ 避難場所を確認する  
家の周りの危険な場所や、避難先を確認しておく。

**コミュニケーションを図る**

- ▶ 家族での話し合い  
災害が起こった時にどのように行動するかや、揺れ離れたときの連絡方法などについて、話し合っておく。
- ▶ 周囲の人たちとの協力  
地域で行われている防災訓練に参加して、どのように行動すればよいかを学ぶ。

1年 p.86-87

人権について  
考える
「ふつう」ってどういうことだろう？
学び  
23

「ふつう」って、どういうことでしょう。あなたは、どんな時に「ふつう」という言葉を使いますか。

世の中には、自分とは考え方や受け止め方が違う人もいます。私たちの教室も、違う環境で育った者どうしが集まっています。時にぶつかったり、誤解したり。でも、みんながみんな、同じだったら……それも楽しくありませんね。違う考え、違う受け止め方をする者どうしが、お互い心地よく生活するには、どんなことを大切にすればよいのでしょうか。



「そんな話だからこそ……彼女、先輩のどんなところにひかれたのでしょう。性は、生物学的には、男性・女性の二に分けられますが、性のあり方はとても多様で、「からだの性」「こころの性」「好きになる性」「表現する性」のあり方は、人それぞれです。また、とてもデリケートなことであり、それを伝えたり、うち明けたりする勇気もでていない人もいます。



住み慣れた土地を離れて、言葉や文化、習慣が違う土地で生活する、というのは、それだけで不安なもの。とまどうことや困ることがあるかもしれません。いつでも、どこにいても、自分の価値観や生活習慣を受け入れてもらえること、うれしいですね。

大切なのは、思いこみせず、相手のことをよく知ろうとすること。そして、違いは違いとして認め合い、わかり合う努力をすることです。誰もが、自分らしさを大切に生きていける社会にしたいですね。

3年 p.48-49

教育出版 とびだそう未来へ 2020年春号 7

多様な教材から重層的に学び、深める

道徳科で考えるテーマの中でも特に重点的に扱いたい「いじめや差別のない社会について深く考える教材」「生命の尊さについて深く考える教材」は、それぞれ複数の教材を連続して配置し「ユニット」にしました。連続して、多様な教材から多面的に考えることで、学びを深めることができます。

それぞれのテーマを扱う教材には、もくじと各ページ番号の横にマークをつけました。ユニット以外にも各学期に配置した教材とあわせて、1年間を通して繰り返しスパイラルに学習することができます。

1年生のユニット例

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1				
オーロラの向こうに	庶民の笑いを絶やさぬ	よく生きることを、よく死ぬこと	チヨコの行方	全ての人に安心、安全な水を	二度と通らない旅人	伝えたい味	幸せな仕事って	歴史を変えた決断	私に宇宙のアレセント	いのちを考える	もったいない	ショートパンツ初体験 in アメリカ	いじめに立ち向かう 自分で考えて行動しよう	あなたならどうしますか	けやき沖を誇りに	富士山を守っていくために	一日前に戻れるとしたら 突如うつろ	裏庭のできごと	選ぶということ	最強の敵 最大の友	まだ進化できる いちロー選手の生き方	ごめんね、おばあちゃん	コミュニケーションのしかたを見直そう	「いじめ」？ 「いじめ」？	ルールとマナー	いじめに立ち向かう君に	自分で決める	不自然な独り言	古びた目覚まし時計	おはよう	あなたが うまれた ひ		
168	162	158	154	148	140	136	139	124	118	114	110	106	104	94	88	86	82	76	72	68	64	56	54	46	42	40	30	26	20	14	8	6	4

▲ 1年 もくじ

**生命の尊さについて 深く考えるユニット**

**いじめや差別について 深く考えるユニット**

2年

- 8 国境なき医師団・貫戸朋子
- 7 六千人の命のピザ
- 6 たったひとつのたからもの

3年

- 23 あふれる愛
- 22 家族の思いと意思表示カード
- 21 いのちの花プロジェクト

2年

- 19 最優秀
- 18 わたしのせいじゃない

3年

- 6 卒業文集最後の二行
- 7 あなたは顔で差別をしますか

いじめに立ち向かう君に

- 7 ルールとマナー
- 8 「いじめ」？ 「いじめ」？
- 9 ごめんね、おばあちゃん

56 54 46 42 40

家族愛、家庭生活の 充実

公正、公平、社会正義 遵法精神、公德心



# 多角的に考える

## いじめや差別を考える「ユニット」構成の例



いじめや差別について考えるユニットには、生徒へのメッセージ「いじめに立ち向かう君に」、身のまわりを振り返り自分たちにできることを考えるコラム「いじめに立ち向かう」を組み合わせ、より重層的に構成しました。

◀ 1年 いじめに立ち向かう君に

1 時間め

7 ルールとマナー 自他の権利を守ることの大切さについて考えます。

2 時間め

8 「いじり」？ 「いじめ」？ 相手の立場に立って考え、行動することの大切さについて考えます。



◀ 1年 コミュニケーションのしかたを見直そう

3 時間め

9 ごめんね、おばあちゃん 身近な人に対して温かい思いやりの心をもつことの大切さについて考えます。

<コラム「いじめに立ち向かう」その他の内容>

1年：自分で考えて行動しよう 2年：違いを認めて助け合おう 3年：信頼関係を築こう



## 内容理解がしやすい教材，楽しく学べる教材

まんが，写真，グラフや絵本など，内容を理解しやすい教材を用いることで，生徒全員が同じスタートラインに立ち，ともに考え，話し合う時間を十分に確保することができます。

また，楽しく学ぶことができるように，生徒にとって等身大の主人公たちが葛藤，成長していく教材を，3学年通してシリーズで掲載しています。

### まんがを使って



#### 1年 「いじり」？ 「いじめ」？

本山理咲さんの『いじめ 心の中がのぞけたら 一漫画 明日がくる』を題材に，「いじり」と「いじめ」について考えます。

### 写真を比較して



#### 3年 変わりゆく地球

複数の写真を比較することから気候変動などの影響による地球の変化を見とり，自分たちの問題としてどのように関わっていくか考えます。

### ポスターやグラフから



#### 3年 歩きスマホをどうするか

啓発ポスターやグラフなどから，「歩きスマホ」の問題点や，スマートフォン・携帯電話とのつき合い方について考えます。

### シリーズ教材



#### 2年 たすきとポンポン

雅司，由紀，美佐の3人を主人公にしたシリーズ教材。お互いの個性を認め合い，共に成長する友情のよさについて考えます。

1年：チョコの行方

3年：フットライト

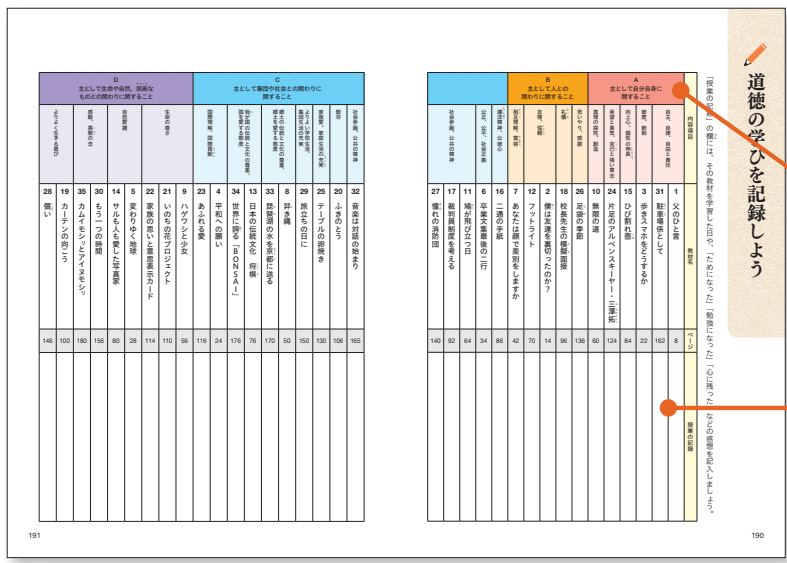
# 5

## 「学びの記録」と「学びの振り返り」で評価をサポート！

### 1時間ごとに「道徳の学びを記録しよう」

授業の感想を記入していくことで、学びの記録を積み重ねていくことができます。

また、教師用指導書には全教材のワークシートを収録しており、1時間ごとの学びを記録、蓄積して、ポートフォリオ評価に活用することができます。



1時間ごとに

教材を学習指導要領の「内容」で示された四つの視点ごとにまとめ、一覧できるようにしています。

自分なりの言葉で無理なく書くことができます。

3年生 p.190-191

### 学期末と学年末の振り返りから「大きくりな評価」へ

学期末・学年末に学びを振り返り、記入するページです。切り離して回収することが可能ですので、これらを集約して、通知表や指導要録の評価の記述に役立てることができます。

学期末に

特に心に残った教材(授業)について振り返ります。

生徒自身が「自分が成長したと思うこと」は、認め励ます評価を作成する際の参考になります。



学年末に

1年間の学びを通じた生徒の変容や成長を把握できます。

3年 巻末



# 広い視野から 多面的・多角的に 考える工夫

～教材「いのちを考える」から～

と か み た く や  
**戸上 琢也** 品川区立品川学園主任教諭

## ●はじめに

中学校及び義務教育学校後期課程において、「特別の教科 道徳」が全面実施されて、早くも1年が経つ。「考え、議論する道徳」のかけ声の下、全国各地で様々な工夫を取り入れた授業実践がなされている。

教科書も導入され、多様な読み物教材が増えてきた。従来の副読本では、主人公の心の変化に焦点を当てた物語文が多くあったが、説明文やエッセイ等の読み物教材が増え、大きなテーマについて問題解決的に考え、話し合うものになってきた。

これは、主人公を中心とした物語文がよいとか、大きなテーマについて考えさせる説明文やエッセイがよいとかいう問題ではない。生徒に多様に考えさせるためには、多様な教材がなくてはならない。

今回、教育出版『中学道徳1 とびだそう未来へ』に掲載されている教材「いのちを考える」をもとに、生命の尊さについて生徒と共に考え、語り合った。

## ●生命尊重の授業をするにあたって

中学生の段階になると、すでに、命は大切であるということはわかっている。「わかっている、なかなか日常で意識できない。どうしよう。」「わかっているけれど、命を大切にするとってどういうことか。」という人間理解の部分を大事にしつつ、命を

大切にするとってどういうことか、どんな心でいることが大切なのかを考えさせたい。

また、人間の生命だけではなく、生きとし生けるものの命の大切さまで考えさせたい。特に、中学生では、社会全体の中で命を大切にすると人間としてのよりよい生き方を追求したい。

## ●教材「いのちを考える」

今回の授業で扱った「いのちを考える」は、人を殺してはいけない理由やペットの殺処分、人間がいただいている動植物の命について書かれたエッセイ「なぜ殺してはいけないのか」の文章を中心にした教材である。人間だけではなく動植物の命の大切さにも触れ、すべての生き物の命の平等性や有限性を考えさせることができる教材である。また、ペットの殺処分問題やフードロスなどの命をめぐる社会問題についても考えることができる。

## ●授業の様子から

まず、教材冒頭にある様々な生き物の絵を提示し、この中にいなくなったら困るものはあるか、共通していることは何か、と問うことで教材への導入をし、興味・関心を高めた。

教材の範読後、この教材のテーマである「なぜ、人の命を奪ってはいけないのか。」という根源的な問いを行った。

生徒からは、「悲しむから。」「一つしかないものだから。」「同じ人間はいないから。」「仲間だから。」等が出された。「先生は、なんてあたりまえのことを聞いてくるのだろう。」という顔を多くの生徒がしていた。今日はこれがねらいではない。

そこで、「では、動植物の命はどうだろう？ 奪ってもよいのか。」という問いをした。「え!? そうきたか。」「え!? 命は奪ってはいけない、大切と教えられてきたけど……。」という困った表情の生徒たち。少し間があいて、何人かの生徒がつぶやき始める。

「人間が食べていくためには必要だから仕方ない。」「奪わないと人間が生活できない。」という生

徒が出てきた。それに対してある生徒が、「でも、人間と同じ命には変わらない。」と発言したので、私も「確かに命は命だから、動植物の命も奪ってはいけないんじゃないのか。」と全体に投げかけた。

すると、「先生だって、お肉を食べたりしてるし、給食をたくさん食べてるじゃん。」と生徒に突っ込まれてしまった。

しばらくして、別の生徒が静かに、「食べる以外で奪うのはよくないということだと思う。」と発言した。「食べすぎたり、奪いすぎたり、無駄にしたりということとはよくない。」という意見も出てきた。

私は、生徒たちに「もう一度考えてみよう。私たち人間の都合だけで本当に動植物の命を奪い続けてよいのだろうか。命とはいったい何なのだろうか。」と問いかけ、命から連想することを自由に書き出すことにした。

「二度と生き返らないもの」

「それぞれに生きている」

「いただいている」

「生まれてくるもの」

「いつかは終わりがある」

などのキーワードが生徒から出され、人間にも動植物にも、同じ命の重みがあり、同じように大切にすることを再確認した。

### ●データから生命尊重をめぐる問題を考える

授業の最後に、「いのちなしには生きられない」という教科書の言葉を用いて、犬や猫の殺処分数、食べ残しのフードロス量、ウナギの漁獲量の減少のデータから、生命の尊さについて自分の考えをまとめ、3～4人で話し合った。

特に、日本で1年間に殺処分される犬や猫の数、食肉の消費量とそれに匹敵する食べ残しの量を提示すると、生徒からは「こんなに多いなんて。」「動植物の命も同じ命なのに。」という驚きの声があがった。

教材だけではなく、教材で考えさせるテーマに関連した社会におけるデータを提示することで、生徒たちがより自分たちの問題として、広い視野から多

面的・多角的に考えることができる。

頭の中では「命は大事」とわかってはいたけれど、社会全体の視点で見ると様々な問題があること、その問題が身近に起きていること、動植物の命をあたりまえにいただいていた自分がいたこと等、生命の尊さについて新たな発見があった。

### ●生徒の発言から

○食べ残しを減らし、生き物にありがたみをもってご飯を食べていこうと思った。

○複雑だなと思いました。命を奪わないと生きていけない。だけど、私たちが食べている動物にも命がある。家族がいる。人間と同じ。今、私にできるのは、食べ残しをせず、命を大切にすることだと思う。

○動物や植物も一つの命だから、それをどうすればたくさん殺さずにすむのかを考えるのが大切だと思いました。また、食べ残しがとても多いため、どうすれば減らしていけるのか考えるべきだと思いました。

○一人一つしかもってなくて、なくなったら取り戻すことができないので、動植物を食べるときは感謝しなければいけないことを改めて思った。

○食べ残し、好き嫌いをしないで、命をいただくときは感謝を忘れないようにしていきたい。

### ●おわりに

生徒が道徳的価値について視点を変える新たな発見や生き方についての深い考えを得るためには、エッセイや説明文の読み物教材であれば、データ等の資料を提示することは有効である。物語文でも、主人公の視点だけではなく、もっと広い視点や別の立場から迫ることで、より深く考えることができる。

そのためには、教師がねらいや教材について多面的・多角的に分析し、授業に臨むことが大切である。

# 節度あるSNSの 利用について 多面的・多角的に 話し合うための工夫

中学校第2学年「道徳」における情報モラル  
～教材「SNSとどうつき合う？」から～

すずき りな  
**鈴木 理菜** 守谷市立御所ヶ丘中学校教諭

## ●道徳科と情報モラル

生徒は日常的にSNSを利用している。便利で魅力的なアプリが次々に開発され、それに伴い生徒の欲求は高まっていく。ルールを守りながら有効に利用できればよいが、すれ違いや情報の拡散からトラブルに発展してしまうことも多い。情報モラルに関する指導の充実が今、必要不可欠である。

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「特別の教科 道徳編」では、情報モラルについて「道徳科においては、（中略）特に、情報社会の倫理、法の理解と遵守といった内容を中心に取り扱うことが考えられる。（中略）問題の根底にある他者への共感や思いやり、法やきまりのもつ意味などについて、生徒が考えを深めることができるようにすることが重要になる。」と示されている。つまり、道徳科では、情報社会の中で起きている問題を自分のこととして捉え、自他の思いや、法やきまりについて様々な視点から考えることが大切である。

## ●生徒の実態と問題点

生徒は、知っている相手と交流するSNSと、知らない相手と交流するSNSの双方を利用している。SNSでのグループ交流の中ですれ違いが起き、友達と喧嘩してしまったという苦い経験をした生徒もいる。これまでの苦い経験や安全教室などの学習か

らSNSは正しく使わなければ危険なことになることをわかってはいる。だが、知らない相手に対して情報を発信、閲覧、投稿することには、節制できず、危険が潜んでいることを忘れてしまうことがある。

欲求を抑え、節度をもって使うにはどうすればよいか、様々な立場から考えることが必要である。

## ●授業実践

主題名 安全で節度ある生活

内容項目 節度、節制

ねらい 生活を振り返り、節度を守り節制に心がけようとする態度を育てる。

教材 「SNSとどうつき合う？」

（『中学道徳2 とびだそう未来へ』教育出版）

[教材のあらすじ]

「私」は以前の苦い経験から、学校の友達とは最低限の連絡をとるためだけにSNSを使っている。一方、友達とつながっていないところでは思ったことを自由につぶやく。その楽しさからSNSにのめりこんでいくうちに、予期せぬことが起こる。

指導のポイント

- ・本教材は「知っている相手と交流するSNS」「知らない相手と交流するSNS」それぞれにおける問題点に着目し、2時間計画で授業を実施する。
- ・様々な側面や視点から話し合えるように「何が問題だったのか。」と問題解決型の授業展開をする。
- ・様々な立場になり、「私」の思いを共感的にも批判的にも考えられる補助発問をする。
- ・「自分だったらどうするか。」という自我関与の視点をもたせるための補助発問をする。  
※補助発問は、生徒の意見に対して「なぜ?」「どういう意味?」「例えば?」などと問う。
- ・1時間を通して意見を比較したり、深めたりできるように教材、自分自身、他者との対話を行う。
- ・対話の時間を確保するために、書く活動と発問は少なくする。

多面的・多角的な話し合いにするための手立て

- ・司会者を立てる。  
※司会者は「話し合いの進め方」のような進行表



は使わず「〇〇さんはどう思う？ 〇〇さんだったらどうする？」と促進的な聞き方をする。

- ・小グループでの話し合いの場面では、考えを整理するツールを活用する。
- ・生徒のつぶやきを拾いながら、一緒に考えていく。
- ・生徒の考えが可視化できる板書構成にする。

## 実際の授業

### 1 導入 (全体)

**発問** 「SNSをどう使っているか。」

### 2 展開前段 (グループ→全体)

**発問** 「グループSNSでのトラブルは何が問題だったのだろう。」

教材を範読したあと、交流する相手がわかっている場合のSNSの利用について考える発問をした。

生徒からは「止める人がいないから調子に乗った。」「情報を安易に拡散している。」等の批判的な意見が出た。一方で、「悪口を言っている所を目撃されないから言いやすい。」という意見があり、「顔を合わせて話したいけれど、本人がいる所でこそこそしていると気づかれてしまうから、ついSNSに頼ってしまうのではないか。」と本音も出てきた。

**発問** 「知らない人とのSNSでの交流は、何が問題なのだろう。」

知らない相手と交流するSNSの利用について考える発問をした。

どのグループからも「危機感がない。」等の意見が出た。その中で「アプリを使ってなぜ自分の情報を発信するのか。」とつぶやいた生徒がいた。そのつぶやきから、発信者の思いについて話し合った。「発信者は、自分を認めてもらいたいという欲求が強く、一人でも多くの人に思いを受け止めてもらいたい。」「友達にどう思われるか怖い。嫌われないからあえて知らない人に対して発信する。」という意見が出た。また、「発信者の思いを傷つけるようなコメントは閲覧していても不快になるので、発信者はそれ以上に精神的に傷つく。」という意見も出た。視点を変え、閲覧する立場から考え

させた。「顔が見えないし、知らない人だから不快なコメントを平気で書いてしまう。」「不快なコメントを書くことでスッキリする。受け手のことは考えてない。」という意見が出た。閲覧する時も相手のことを思う気持ちを忘れてはいけないということに気づくことができた。

### 3 展開後段 (グループ→全体)

**発問** 「みんなはSNSとどうつき合っていくか。」

様々な立場や視点から話し合ったうえで、自分自身のSNSの使い方を振り返らせてから発問をした。

やはりSNSの使い方に改善すべき点があることに気づき、「どんなSNSでも、発信内容は客観的に捉える必要がある。」「相手の顔は必ず想像する。」「友達であっても内容によっては情報を信用しない。」など多様な意見が出た。

顔は見えないが、相手の気持ちを考えて利用することが、すれ違いや危険をなくすことにつながると改めて気づくことができた。

### 4 終末 (個人)

道徳ノートに思いを記入する。

①感想、②今までの自分、③これからの自分

#### 生徒の意見 (例)

- ①SNSは便利で楽しいものだけれど相手を思う心や「どの情報を信じるか。発信内容は安全か。」など判断する力がないと危険なもの。
- ②これくらいならだいじょうぶだろうと軽い気持ちで発言して、相手を傷つけていたのかもしれない。
- ③SNSに限らず、人と関わる時は他の人のことを考え、思いやりの気持ちをもって使うことが大切だと思った。情報の全部を信用しないことも大切だと思った。楽しいからと夢中になり自己中心的な言動にならないようにしたい。





第18回

# 地球となかよしメッセージ

## 作品募集 (2020年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、  
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に  
参加賞が  
もらえるよ!

応募資格	小学生・中学生(数名のグループ単位での応募も可)
応募期間	2020年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。
作品テーマ	①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催/教育出版  
◎後援/環境省、日本環境協会、日本環境教育学会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞 \*協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>



**教育出版**

「地球となかよし」事務局

前回  
入選作品



人間緑化

地球温暖化は、私が生まれる前から一向に止まらない。特に緑が少ないコンクリートジャングルの都市部は、ヒートアイランド現象により、夏場は猛暑日と熱帯夜が続く、灼熱地獄と化している。対策として、建築物の屋上や壁面に緑化が進められている。

さらに有効な打開策として、私は都市部にあふれる人間を緑化する、人間緑化を提案する。人間緑化に最適な植物の苔は、霧吹きで水をかけると、すぐに葉がひろがり光合成を始め、二酸化炭素を吸収し、新鮮な酸素を生み出す。

さあ、霧吹きを手に、人間緑化を上げよう!

世界中の人々に人間緑化が浸透し、心までもが緑化されて潤ったとき、地球温暖化は必ず止まる。(中学3年)

中学道德通信 とびだそう未来へ (2020年 春号) 2020年3月31日 発行

編集: 教育出版株式会社編集局

印刷: 大日本印刷株式会社

発行: 教育出版株式会社 代表者: 伊東千尋

発行所: 教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp>

電話 03-3238-6864(内容について)

03-3238-6901(配送について)



### なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003	札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル6F TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011	函館市本町6-7 函館第一ビルディング3F TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014	仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル7F TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
中部支社	〒460-0011	名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル5F TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
関西支社	〒541-0056	大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル7F TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051	広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル5F TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
四国支社	〒790-0004	松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル5F TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
九州支社	〒812-0007	福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E室 TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155	那覇市金城3-8-9 一粒ビル3F TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」の通り、配付を許可されているものです。